

特別支援教育コース 2019年度修士論文発表会3

日時：2019年9月7日（土）9：00～15：05

場所：特別支援教育実践研究センター研修室

9:00-9:05 開会の挨拶（笠原先生）

No.	発表時間 (発表7分)	氏 名	論文題目	担当教員
1	9:05-9:12	上平 昭宏	教育支援センターにおける発達障害児童生徒への支援体制に関する調査研究	河合
2	9:12-9:19	久保田 雅貴	知的障害者支援施設における支援マニュアルの活用が利用者の強度行動障害に及ぼす効果	村中
3	9:19-9:26	黒川 健太郎	脳性麻痺のある生徒における算数の文章題解決過程の特性と指導に関する事例的研究	八島
4	9:26-9:33	佐久間 晶子	視覚障害生徒の地理試験問題の解答過程	佐藤
5	9:33-9:40	高木 梨子	通常学級に在籍する児童の学業成績に対するADHD特性とワーキングメモリ、不安特性の影響	池田
6	9:40-9:47	早瀬 雄太	超重症児における学校卒業後を見据えた指導に関する調査研究	八島
	9:47-10:00	休憩		
7	10:00-10:07	宮崎 美樹	通常学級に在籍する低出生体重児のききとりの困難の実態に関する研究	小林
8	10:07-10:14	安田 浩士	特別支援学校(肢体不自由)教師の授業における「主体的な学び」の認識と配慮・工夫に関する調査研究	笠原
9	10:14-10:21	横田 恵	医療的ケアを要する子どもの教育における指導および多職種協働に対する養護教諭の専門性意識	藤井
10	10:21-10:28	吉垣内 美穂	自閉症スペクトラム障害児の聞き手への接近行動を伴う報告言語行動の形成	村中
11	10:28-10:35	新谷 秀明	個別指導における自閉スペクトラム症児の教示要求行動の形成	村中
12	10:35-10:42	岩船 夏海	聴覚障害学生における非連続型テキストの有効性—概念図の読みを中心に—	坂口
	10:42-10:55	休憩		
13	10:55-11:02	遠田 敦	特別支援学校のセンター的機能担当教師の小・中学校へのコンサルテーションについての実態と意識に関する研究	河合
14	11:02-11:09	大谷 泰樹	聴覚障害学生の数学文章題に用いる読解方略の調査研究	坂口
15	11:09-11:16	高地 朋見	特別支援学校のセンター的機能による小学校特別支援教育コーディネーターに対する個別の指導計画作成支援	藤井
16	11:16-11:23	酒井 望有	重症心身障害児の機能的視覚の改善に関する事例的研究	佐藤
17	11:23-11:30	佐々木 壮太	定時制高等学校における特別な支援を必要とする生徒への支援体制に関する調査研究	笠原
	11:30-11:40	休憩		
18	11:40-11:47	佐藤 昌史	知的障害者のワーキングメモリと知的機能・適応行動の関連	池田
19	11:47-11:54	佐藤 みどり	特別支援学校における学校間交流の実施体制が交流活動に及ぼす影響	笠原
20	12:01-12:08	鈴木 地平	筋ジストロフィー成人を対象とした主観的QOLの規定要因に関する調査研究—長期的予後を見据えた教育的ニーズの検討—	八島
21	12:08-12:15	堀井 優希	定型発達児の漢字学習に対するLD特性とワーキングメモリの関連	池田
22	12:15-12:22	渡邊 純子	知的障害生徒の作業学習における自己記録が作業遂行に与える効果	村中

2. ポスターセッション 時間：13:30～15:00 会場：特別支援教育実践研究センター

前半：13:30～14:15 発表番号奇数の者 後半：14:15～15:00 発表番号偶数の者

3. 講評（笠原先生） 時間：15:00～15:05